

第8回 国立大学法人山梨大学契約監視委員会  
議事概要

開催日及び場所	令和元年9月20日（金）本部棟5階第二会議室
委員	委員長 鮎川 龍巳（国立大学法人山梨大学監事） 委員 近藤 徹（弁護士） " 田中 佑幸（公認会計士・税理士）
審議事項	1 個別契約案件に係る調査・審議について 2 入札・契約の過程に係る手続等に関する再苦情処理について 3 契約に係る入札談合に関する情報等について
委員からの意見・質問、それに対する回答等	下記のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	全体としては特に問題なく処理されていると判断した。

抽出案件		備考
① 一般競争（政府調達）	1/ 12 件	審議対象期間： 平成31年1月1日～ 令和元年6月30日
② 一般競争（政府調達以外）	7/ 45 件	
③指名競争	0 件	
④企画競争による随意契約	0 件	
⑤公募による随意契約	1/ 1 件	
⑥その他の随意契約	3/ 91 件	
合 計	12/149 件	

意見・質問	説明・回答
<p>1 個別契約案件に係る調査・審議について</p> <p>○平成31年1月1日から令和元年6月30日までの間に締結した契約のうち、委員が抽出した契約案件12件について、契約の妥当性等の点検を行ったが、特に問題となる契約はなかった。審議の概要は以下のとおりである。</p>	

<p>1. 山梨大学（北新（附中））屋内運動場設計業務 〔公募による随意契約〕 （簡易公募型プロポーザル方式(拡大)）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易公募型プロポーザル方式(拡大)とはどのような契約方式か。</li> <li>・業者が技術提案書を提出する際に、金額も記載されるのか。</li> <li>・技術力や管理能力について評価して選ぶと、金額設定が業者の自由になるのではないか。</li> <li>・技術提案書で評価された1業者から見積書が提出されるのでは、市場調査や競争が働かないのではないか。</li> <li>・本契約の予定価格は大学で積算したのか。</li> <li>・落札率が非常に高いと思われるが、理由はあるか。</li> <li>・特定された1者の提示した金額が順次下がったということか。</li> <li>・技術提案書が4者から提出され、その4者を評価して選定する際の採点基準は、委員会要領の「技術提案書を特定するための評価基準」を委員会で作成し、点数化して評価するということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国立大学法人山梨大学における建設工事に係る設計業務プロポーザル実施要項」、「国立大学法人山梨大学施設・環境部における入札・契約制度等の運用について」概要を説明し、併せて建設コンサルタント選定委員会の運営、契約までの流れを解説した。</li> <li>・技術提案書には、金額は記載されません。</li> <li>・仕様書を示していますので、それを基に業者が見積書を作成します。</li> <li>・本学で別途見積もりの予定価格と比較しています。</li> <li>・そうです。</li> <li>・3回目の入札で落札となりました。</li> <li>・そうです。</li> <li>・そうです。</li> </ul>
---	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術提案書を提出した4者の評価点の数値の差異は、どのようであったか。</li>   <li>・評価基準の評価事項にはどのようなものがあるか。</li>   <li>・技術提案書を評価した際の4者の2位と3位の評価点は、それぞれ何点であったか。</li>   <li>・3回目の入札において落札しているが、1回目、2回目に業者から提示された金額はどのようであったか。</li>   <li>・最初に提示した金額からそれを下げるといことは、質の低下に繋がるのではないか。</li>   <li>・技術提案書の提出の際に金額も提示して、その金額も評価の対象としている契約の事例もあるが、評価の対象にはしないのか。</li>   <li>・応札者が、3回の入札において提示した金額を下げているが、どのような内容を下げているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（各評価点を回答）</li>   <li>・提案者の能力として、技術者数、技術力、主要業務の実績、発注の業務と同種又は類似業務の実績、また、業務の実施方針として、業務内容の理解度、実施方針の妥当性、実施手法の妥当性、行程計画及び配置技術者計画の妥当性、更に課題についての提案をいただき、その提案の的確性、独創性、実現性などがあります。 （評価表を提示）</li>   <li>・（それぞれの評価点を回答）</li>   <li>・（それぞれの金額を回答）</li>   <li>・提案した内容が、金額を下げることによって出来なくなる場合には、辞退することになり、その場合は次点者と交渉します。今回は、提示した金額で技術提案書のとおり出来るということが前提となっています。</li>   <li>・「国立大学法人山梨大学における建設工事に関わる設計業務プロポーザル実施要項」に記載のとおり、文部科学省からの通知を準用しています。</li>   <li>・提示した金額の内訳については、示されていません。</li> </ul>
---	---

<p>2. (下河東) R I ・動物実験施設ボイラー設備保全業務 〔その他の随意契約〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見積もり合わせで提示された金額と結果はどのようであったか。</li> <li>・1回目の見積もり合わせの提示金額は、予定価格より高かったということか。</li> <li>・予定価格は大学で積算した金額か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格が会計規則の随意契約可能範囲となりましたので、随意契約を行っています。予定価格が一定金額以上の場合には、2者以上から見積書を受領するよう定められていますので、見積もり合わせを行っています。従って、応札者は2者です。</li> <li>・2回見積もり合わせを行い、2回目で落札しました。 (それぞれの金額を回答)。</li> <li>・そうです。</li> <li>・そうです。</li> </ul>
<p>3. (武田1他) 構内環境整備業務 〔その他の随意契約〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業者は、見積もり合わせを行っているので、一定金額未満の契約であると予測して見積書の提出を行っているということか。</li> <li>・何回目の見積もり合わせで落札したのか。</li> <li>・見積書の提出が1者であれば、その業者に決定するのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定価格が会計規則の随意契約可能範囲となりましたので、随意契約を行っています。予定価格が一定金額以上の場合には、2者以上から見積書を受領するよう定められていますので、見積もり合わせを行っています。3者から見積書の提出がありました。</li> <li>・本学の定める一定金額以上の見積額を提出をした業者が2者ありました。一定金額未満の見積書を提出したのは、1者だけでした。</li> <li>・1回目で落札しました。</li> <li>・予定価格調書を作成していますので、見積額が予定価格より高ければ、落札されません。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2者以上から見積書を受領する必要がある場合でも、1者だけの提出になる場合もあるのではないか。</li> <li>・ その場合は、競争を許さない場合となるのか。</li> </ul> <p>4. 白衣等賃貸借 一式 〔一般競争（政府調達以外）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICチップは、誰の白衣かわかるためのものか。</li> <li>・ 2者が説明会に参加し、1者が応札しない理由は、何か想定されるか。</li> <li>・ 契約の単価は、例えば、男女、職種、で違いはあるか。</li> <li>・ 単価で契約しているということは、追加で借りることも可能か。</li> <li>・ 実際に借りた数に応じて、毎月の支払いをしているということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本は2者以上から受領することとしていますが、1者しか提出が得られない場合もあります。</li> <li>・ そうです。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札説明会出席・仕様書を受領は2者でしたが、応札者は1者でした。契約期間は令和元年5月1日から令和5年3月31日までの4年間です。応札は7回行って、前回と同じ業者が落札しています。4年分の総額で予定価格の算出を行っています。総額で契約をしておいて、後にそれぞれの白衣に対する単価契約を行っています。一部にICチップを付けましたので、その分単価が上がりました。</li> <li>・ そうです。誰の白衣か特定するものです。</li> <li>・ 実績や経験による部分のコストダウンが可能なのではと考えられます。それを考えると新規参入は難しいのかもしれない。</li> <li>・ はい。それぞれ異なる一つ一つの製造費や維持費を積み上げた金額です。</li> <li>・ 追加でも同じ金額で借りることは可能ですが、業者は見込み数分を調達して、その中で回しています。</li> <li>・ そうです。</li> </ul>
---	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、刺繍をしたことで、どの程度の金額が増えたか。</li> <li>・契約は、何着分に該当するのか。</li> <li>・I Cはどのようにして読み取るのか。</li> <li>・白衣は個人に提供されるのか。</li> <li>・洗濯の請負は別か。</li> <li>・デザインを変えたり、大幅な変動があった時は新規業者も価格競争がしやすくなり、参入のチャンスということか。</li> <li>・最初に応札した金額と落札した金額の違いはどのくらいの差があるのか。</li> <li>・予定価格は、大学の積算か。</li> </ul> <p>5. 人口呼吸器</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 汎用人工呼吸器 一式</li> <li>(2) 人工呼吸器 一式</li> <li>(3) 人工呼吸器 一式</li> <li>(4) MR I 対応人工呼吸器 一式 〔一般競争（政府調達以外）〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（一件あたりの金額を回答）</li> <li>・手持ち資料はありませんので詳細な数値は申し上げられませんが、上下それぞれ7千枚弱位です。</li> <li>・業者がI Cリーダーを持っています。洗濯後は、I Cにより個人が特定出来るので、業者が、病棟ごとに纏めて届けてくれます。</li> <li>・そうです。</li> <li>・契約には、洗濯代も含まれています。</li> <li>・そうだと思います。</li> <li>・（それぞれの金額と差異を回答）</li> <li>・そうです。</li> <li>・調達内容は、人工呼吸器4基の調達です。それぞれに違う機能を求めていたため、個別に調達しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 汎用人工呼吸器は、自発呼吸ができない方や体力が衰えてきている方に使用する装置です。</li> <li>(2) 自動調整機能に優れ、患者さんの呼吸状態に合わせて稼働する装置です。</li> <li>(3) 自発呼吸をより促す機能に優れています。</li> <li>(4) 自発呼吸のない患者さん用で、主として救急搬送時に使用されます。こうした患者さんは、直ちにMRI検査をし</li> </ul> </li> </ul>
--	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定価格は大学が積算したものか。</li> <li>・ 入札書を受領する際に業者から参考見積書の提出を受けているか。</li> <li>・ 本学の落札率が異常に高いのは、本学が積算した予定価格よりも落札した者の見積価格が安ければ、それに置き換えてしまうから100%に近い落札率になるということか。</li> <li>・ 4つの機器は、違う場所に置かれるのか。</li> <li>・ 発注元は、全てMEセンターということか。</li> <li>・ 4件を一緒にしなかった理由は。</li> </ul>	<p>なければならぬことが多いので、磁場の環境でも使用できる装置になっています。</p> <p>なお、(1)と(3)は更新で、(2)と(4)は新規の設置になります。</p> <p>(1)は、説明会に2者が参加し、仕様書の受領も2者でありましたが、応札は1者で1回目で落札しました。</p> <p>(2)は、説明会に1者が参加し、仕様書受領は2者でありましたが、応札は1者で、4回目で落札しました。</p> <p>(3)は、説明会に1者が参加し、仕様書受領も応札も1者で、1回目の入札で落札しました。</p> <p>(4)は、説明会に2者参加、仕様書の受領は3者でしたが、応札は1者で5回目の入札で落札しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ そうです。</li> <li>・ はい受領しています。</li> <li>・ そうです。</li> <li>・ 今回の人工呼吸器はMEセンターで一括管理しています。現場からの要請で貸し出します。</li> <li>・ そうです。</li> <li>・ 一括りに人工呼吸器といっても機能が違うので、一緒にすることが良いかど</li> </ul>
--	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機械をまとめると入札できる者が限られてしまうので、分けた方が合理的だというような理由付けができれば良いと思う。</li> <li>・ 大学は長期計画に基づき再整備をするという理解だが、それとの整合性はどうか。</li> <li>・ 4回目の入札で決まったという事だが、最終的に不落の場合はどうなるのか。</li> <li>・ その場合は、予定価格を見直すのか。</li> </ul> <p>6. 医学部キャンパス構内警備業務及び看護師宿舎機械警備業務等 一式 〔一般競争（政府調達以外）〕</p>	<p>うか、難しい問題です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約を分けた理由としては、機能面からメーカー及びその代理店が違ってくことを想定したことによるものです。まとめて購入することで安くなるという考え方もありますが、一つの代理店が代表して他を纏めることにもなるので、返って高額になることも考えられます。</li> <li>・ 来年の10月に2期棟が開院する予定で、それに伴う設備が多くあります。一般調達、政府調達等ありますが、調達までの時間を考慮して、既に準備をしている所です。</li> <li>・ その業者と交渉しますが、予定価格は変更せずにその範囲内で交渉します。折り合いが付かない場合は、入札を最初からやり直すこととなります。</li> <li>・ 予定価格を見直すことはできないので、仕様を見直すこととなります。仕様を下げてその予算内に抑えるようにすることとなります。</li> <li>・ 調達内容は、3年間の契約で今回契約期限が切れたため、新たに契約を行ったものです。新棟を建てたため警備範囲が広がりました。前回の契約より高額になっています。仕様説明会に4者が参加、4者が仕様書を受領、応札業者は2者です。</li> </ul>
---	--



<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学で積算した予定価格の金額はいくらか。</li> <li>・参考見積を取ったのは、1者だけか。</li> <li>・以前の契約先はどの業者か。</li> </ul> <p>7. データ公開用サーバ1式(DL380 Gen10 12LFF モデル 外) カスタイズ 〔その他の随意契約〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相見積りの提出による契約か。</li> <li>・これは特殊なものか。</li> </ul> <p>8. 事務用仮想化基盤システム 一式 〔一般競争（政府調達）〕</p>	<p>本学で積算の予定価格よりも業者の参考見積額が安価であったため、その金額を予定価格としました。従って、落札率は100%となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（金額を回答）</li> <li>・2者です。</li> <li>・今回の契約先と同じです。</li> </ul> <p>・学会や研究会において脳情報動態学を推進するための手段として、得られたデータの共有を可能とするサーバが必要との要請により、契約したものです。応札者は2者です。 本学及び他大学に契約実績がなかったため、参考見積額を予定価格としたため落札率は100%となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そうです。</li> <li>・はい、使用者から仕様書を提出頂きましたが、多様な条件のある特殊なサーバです。</li> </ul> <p>・財務や人事給与など各種業務のバックアップやそれらシステム間の連携、事務系システムのBCP対策に対応するために導入したシステムです。 政府調達で5年間のリース契約です。仕様書を受理したのは5者で、応札したのは、2者です。 本学及び他大学の契約実績から積算した価格と2業者からの参考見積で予定価格を決定しました。 一番安かったのは本学で積算した金額</p>
---	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・購入の具体的なものは何か。</li> </ul> <p>9. 電力実験・実習用機器（割賦購入）一式 〔一般競争（政府調達）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・割賦購入の内容は、どうか</li> <li>・割賦払いに金利はあるのか。</li> <li>・落札者は、参考見積書と比較すると、入札では金額を下げてきたということか。</li> <li>・5月の新聞記事だったと思うが、財務省が、「国立大学では随意契約の割合が約5割を占めている。また、随意契約の上限に近い価格での購入が目立っている。一方、公的研究機関では、ほぼすべて入札による契約を行っている。効率的なお金の使い方をしてほしい。」という指摘をしている。それについてコメントはあるか。</li> <li>・どの大学も随意契約を可能とする金額は、一律か。</li> </ul>	<p>でしたので、それを予定価格としました。</p> <p>落札率が高かった理由は、落札業者が多くの大学に実績があるので、予想を立てやすかったのではないかと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバとソフトで、保守も含みます。</li> <li>・調達物件は、電気応用実験に使用する機器の更新です。 予定価格は、他大学等の実績並びに市場調査に基づく算定を検討しましたが、実績が得られず、応札業者の2者から受領した参考見積書の価格を予定価格としました。1回の入札で、落札となりました。</li> <li>・2回の分割で、1回目の支払いが10月に、残りは来年度に支払います。</li> <li>・短期間ですので、金利はありません。</li> <li>・そうです。応札者は2者とも金額を下げています。</li> <li>・契約金額を目安とした契約方法が定められており事務処理の関係もあるので、規則に沿った契約方行っていきたいと思います。</li> <li>・大学ごとに決めています。旧帝大は随意契約金額の上限は高くなっています。</li> </ul>
---	--

<p>2 入札・契約の過程に係る手続等に関する再苦情処理について</p> <p>3 契約に係る入札談合に関する情報等について</p> <p>4 その他  ○今後のスケジュールについて  ・次回の開催は、令和元年7月～12月分の契約を審議対象として、令和2年2月～3月に開催することとした。</p>	<p>す。政府調達については、全国的に一律です。</p> <p>○事務担当から、平成31年3月28日（前回委員会開催日）から本日までの間で、再苦情処理に関する事案はなかった旨の報告があった。</p> <p>○事務担当から、平成31年3月28日（前回委員会開催日）から本日までの間で、5月にニチイ学館、ソラストなどの医療事務受託契約に係る談合が中部地方を中心にあったとの報道があったが、現状において、その後の処分等の報道はないので、取引停止などの処置は行っていない状況である旨の報告があった。</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>
--	--